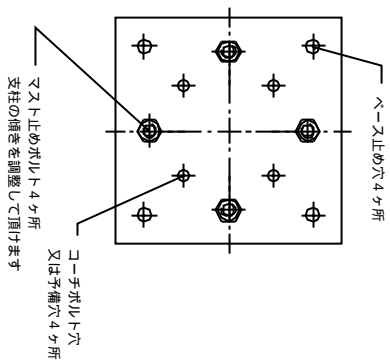
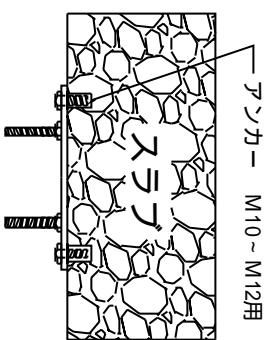


天吊り金具取り付け手順

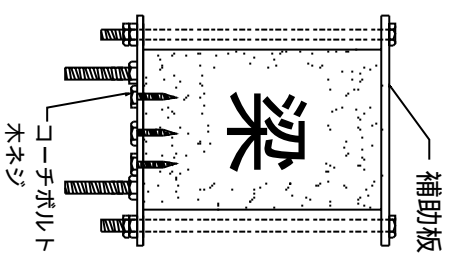
1 ベース板を取り付ける



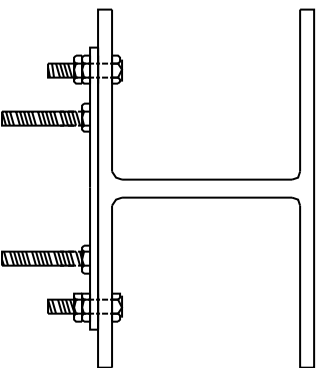
各 取付け仕様に合わせベース板をしっかりと確実に取り付けて下さい。
注 ベース板は水平に取り付けて下さい。



コンクリートスラフに取り付ける場合は、ベース板の4角の穴に合わせアンカーを打ち込んで下さい。
注 スラフやキーストーンにアンカーを打ち込み時はアンカーの突き抜けにご注意下さい。
使用アンカー M10～M12用
スラフの厚みを考慮しお買い求め下さい。

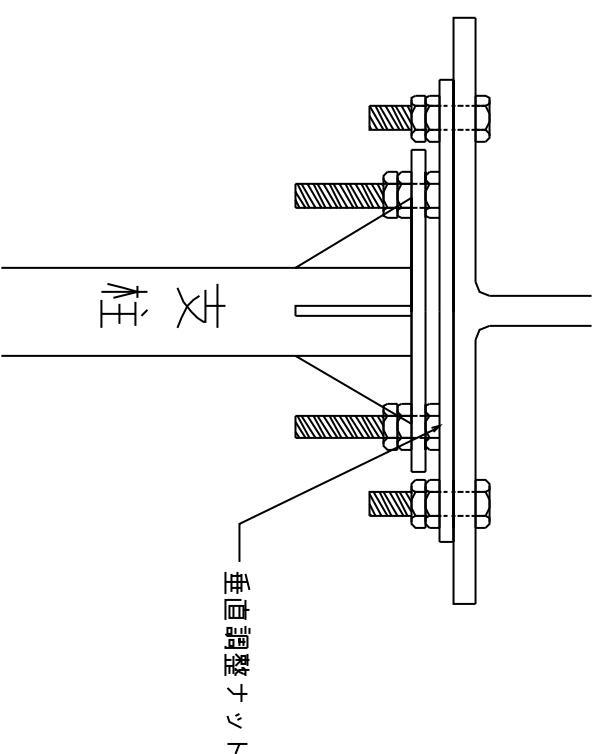


木材の梁に取り付ける場合はベース板と補助板で梁を挟みこみダブルナットでしっかりと締め付けて下さい。
締め付け後コーチボルト又は木ネジで確実に固定して下さい。



H鋼に取り付ける場合はH鋼にネジ穴を開けダブルナットでしっかりと締め付けて下さい。
又、H鋼に直接、溶接で止めて頂いてもかまいません。

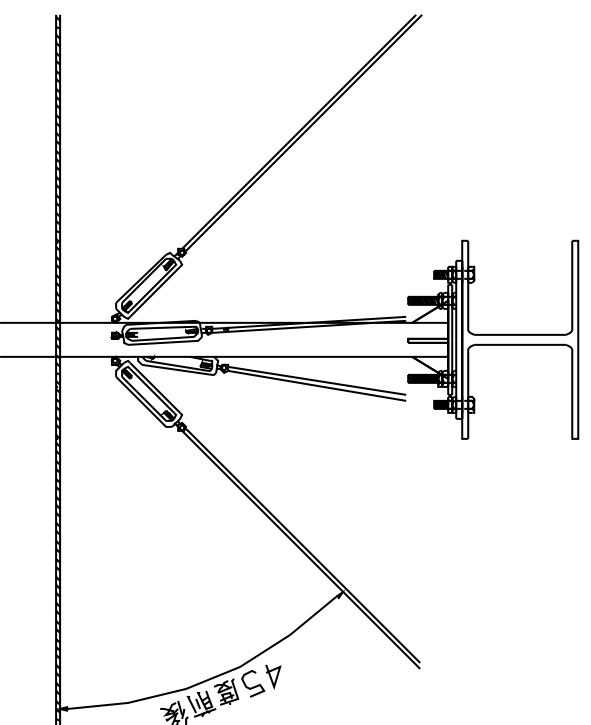
2 支柱を水平に取り付ける



ベース板の支柱取付けボルトに支柱を差し込み支柱が垂直なよう調整ナットで調整しダブルナットでしっかりと締め付けて下さい。

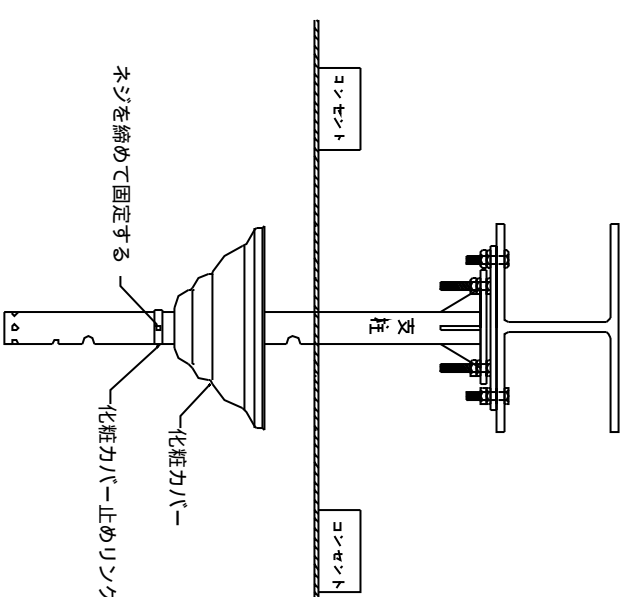
注 支柱の取付けは水平器等をご使用し垂直に取り付けて下さい。支柱が傾いた状態で取り付けますとドライヤーが一定の場所で止まらずご使用しづらくなります

天井裏が高い場合はターンバツクルで3～4方向に引張って下さい。



天井裏が高い場合はターンバツクルで均等に引張り支柱の揺れをとって下さい。引張る部材はワイヤー又は、鉄筋で引張って下さい。
注 引張る際は支柱の傾きに注意し、支柱が垂直になるよう注意して下さい。

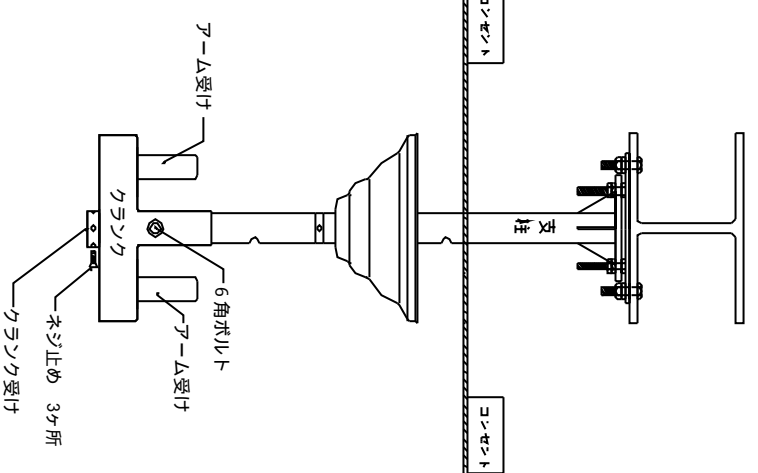
3 化粧カバー取付け



ネジを締めて固定する

支柱に化粧カバーと化粧カバー止めリングを通し化粧カバー止めリングのネジを締め固定して下さい。

4 クラシックとクラシック受け取付け

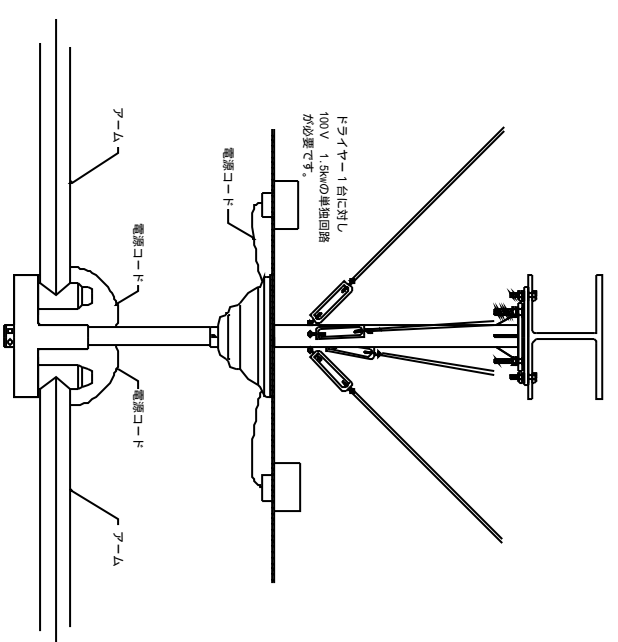


支柱にクラシックとクラシック受けを順に通し支柱のネジ穴に合わせてネジ止めして下さい。

注 クラシックはトリマー様ご使用になるテーブルの方向にアーム受けを向けてネジ止めして下さい。

完成図

アーム・ドライヤーの設置はドライヤーに付属の取付け説明書をご覧ください。



ドライヤー1台に対し100V・1.5kWの単独回路が必要です。

電源コンセントはドライヤー1台に対し100V 1.5kWの単独回路が必要です。
コンセントの位置は支柱を中心に350～400の位置に付けて頂きますとコードが大きく垂れず見た目が綺麗に仕上がります。
コンセントはストッパー付きをお勧めいたします